



鳥取大生など女性3人が、鳥取で働く魅力を社会人ゲストに語ってもらう高校生向け動画コンテンツをつくり、高校生らが参加する公開視聴イベントを開いている。2022年度のとっとりSDGsアワードで入賞した。

鳥取大地域学部4年の河合真希さんが2021年秋、鳥取県出身の広島大生と2人で団体を結成。倉吉市の専門学校生が加わり、昨年3月から動画の収録を始めた。

動画はメンバーと県内で働く社会人ゲストの対談のほか、ゲストに関係するサプライズゲストが登場。22年度はまちづくり会社の関係者や社

■ 69 □

高校生に鳥取で働く魅力を

みなみかぜ文庫

(鳥取市)

氏、イラストレーターなど計5回、10人をゲストに迎え、高校生の目線でなじみ深い「推し」を切り口に鳥取県内で働く魅力などを語ってもらった。

「自分が好きなことと仕事がつながり、県内で自己実現できることを高校生に伝えたい」と河合さん。オンラインに参加した高校生同士の交流が始まる副産物も生まれ、出演した社会人からも「自分の仕事を見つめ直すことができた」と好評だったという。

本年度も5回以上の動画コンテンツをつくり、高校でのワークショップ開催なども予定している。河合さんは「鳥取に住んで良かったと次世代が思える地域をつくる人材になりたい」と力を込めた。



MINA studio
第4回イベント(2022年12月21日開催)終了後のメンバー